

森下さち子ニュース

市議団ホームページ
Eメール
ブログ

<http://jcpwkym.sakura.ne.jp/>
jcpwkym@apricot.ocn.ne.jp
<http://sachikogo.exblog.jp/>

日本共産党

Japanese Communist Party

和歌山市議員団

TEL (435) 1113

FAX (421) 4181



2015年8・9月号



市民の声を反映した町づくりを！

「地方創生とまちづくり」

和歌山市駅前再開発・ 中央卸売市場・市民会館

5月18日、南海和歌山市駅の再開発計画が市と南海の共同記者会見により明らかとなりました。

南海市駅は高島屋がすでに撤退し、地元から買い物への不便さを指摘する声も上がっていました。

南海は1期工事（2015年5月～2017年春）で、新駅舎とその西側へオフィスを建設すると共に、2期工事（2017年～2020年）で、駅ビルを解体し商業施設を建設。また、和歌山市は2

期工事の商業施設へ市立図書館を移転させ同時に観光案内所や市政駐輪場を移設、また、駅前広場をロータリー化するという予定です。

さらに、老朽化が進む中央卸売市場の建て替え、および市民会館の建て替えも計画されており、箱物の新設ラッシュとなり、箱物の新設ラッシュとなりそうです。

これまで、和歌山市が公共施設を建設あるいは建て替える場合、市民の声をどのように聞いて来たのか、トップダウンで

はなく市民参加の計画づくりで進めるべきです。

現在、市民によるワークショップなどが開かれています。十分に声を反映させることが求められ、多少、時間がかかって



お知らせ

8月の無料法律相談

8月25日（火）18：00～

事前の予約をお願いします。

TEL 435-1113

市役所控室 森下まで

「日本共産党を語るつどい」

8月30日（日）13：30～

勤労者総合センター

宮本たけし衆議院議員が国会報告を兼ねてお話しします

9月定例会市議会（予定）

8月24日（月）開会、31日（月）最終で、国体開催に伴い、いつもより短縮される予定です。

「都市計画道路が供用開始予定」

松島・本渡線、市駅・小倉線、南港・山東線

かねてより工事中だった、都市計画道路供用が間近です。松島・本渡線、市駅・小倉線、南港・山東線の3路線が8月末および9月初旬に暫定的に供用開始となります。松島・本渡線は秋月から神前までの区間、市駅・小倉線は出水から鳴神までの区間、南港・山東線は秋葉町から塩屋までの区間、いずれも9月議会へ上程され、議決を経た後となります。



残暑、お見舞い申し上げます。

すでに立秋を過ぎ、暦の上では秋ですが、暑さは続きそうで、8月末から9月も予報では平年より気温も高めだとか。まだまだ、熱中症にはお気をつけください。



今年は、和歌山市で44年ぶりに国体が、また、初めて全国障害者スポーツ大会が開催されます。それに伴って、9月定例会市議会はいつもより早く始まる予定です。



6月議会報告

大変遅くなりました。

今年の6月議会は、いつせいで方選挙があったため通常より遅く、6月22日〜7月8日までの会期日程でした。

市長から提案された22件の議案はすべて、賛成多数、あるいは全会一致で可決されました。

日本共産党議員団は問題点のある4件に反対し18件には賛成しました。

マイナンバー制度は慎重に!

補正予算にはマイナンバー制度への移行にかかわる委託料が計上されました。このマイナンバー制度については、一般質問でも取り上げたように、市民生活にとってメリットよりデメリットの方が大きいと言えます。情報流出の不安にこたえられるような仕組みになっっているとはどう言いえず、少なくとも年金情報が流出した事件

の解決を見てからでも遅くはありません。これは国の制度であり、市は国に対して個人情報保護するための仕組みへ改善を求めるべきです。

市民からの請願2件は不採択になりました

①『集団的自衛権行使を具体化する「平和安全法制」に反対することを求める請願』

(和歌山県地方労働組合評議会 他3団体から提出)

共産党議員団、誠和クラブの2議員を含む7名の賛成少数

②『公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める請願』

(全日本年金者組合和歌山市支部から提出)

共産党議員団5人の賛成少数

私は共産党議員団を代表して、この請願2件に対する賛成討論を行いました。



ブログ「さっちゃんね...♪」より



「安保法案反対!」2015年 07月 17日

歴史は繰り返すという言葉があります。たいていは良い意味には使われないようです。

昨日、衆議院本会議において、安保法案が与党単独で強行採決され、論戦の舞台は参議院へ送られることになりました。延長した9月末までの会期に向けて、法案成立の目算が立ったことになると、ニュースで報道されていましたが、本当にそうでしょうか。

国民の怒りはハンパなものではない! 私は今心底そう感じています。12日の和歌山弁護士会が呼びかけた集会に2500人、デモの参加者2000人。そして、一昨日の国会前では6万人が集い、特別委員会の強行採決に抗議の声をあげました。

「60日ルール」があろうと、たたかいはこれから。多くの人が



(和歌山城 西の丸広場 7月12日)

声をあげるための時間はまだあるのです。私も声をあげることをやめません。



『海街diary』を観ました。3姉妹の生活の中に異母妹が加わり4姉妹となつて、新たな生活が始まります。母親や祖母も登場し、それぞれの思いや葛藤がありつつ、日々の暮らしを通じて、時にはぶつかり合う中で互いを分かつとする。大きな事件はないけれど、鎌倉を背景に4姉妹の個性が静かに浮き上がって、後味がさわやかでした。

監督は『誰も知らない』『そして父になる』を撮った是枝裕和氏。常に“家族”とは何かをテーマにしているとかで知りました。家族とは、最も小さい単位の社会だと聞いたことがあります。時代とともに家族の有り様も変わっていくけれど、変わらないのはそこで生まれ、かわり合いながら互いに育ちあつていくものではないでしょうか。

